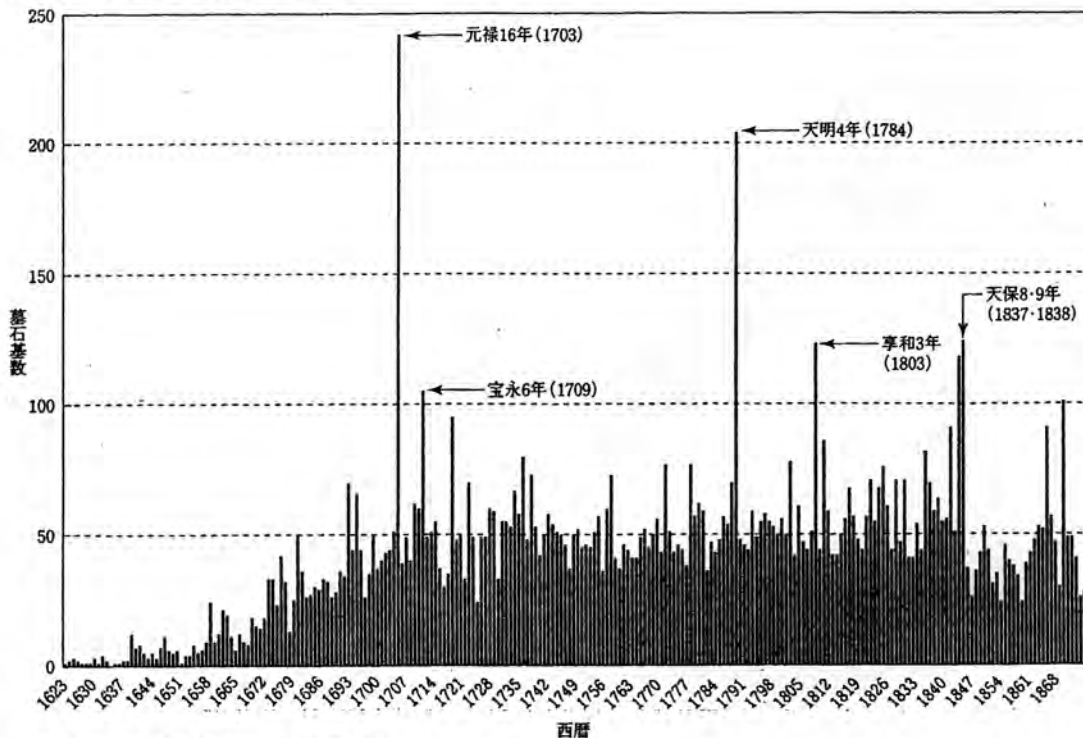


9. 江戸時代の伊東市域を襲った災害は 『伊東市史 調査報告 伊東の石造文化財』

伊東市内の江戸時代の墓石約1万基を調査し、年代別に増減表を作成したところ、江戸時代約250年間に伊東市域を襲った災害の凄まじい実態が見えてきた。

【図1】年代別墓石数の推移

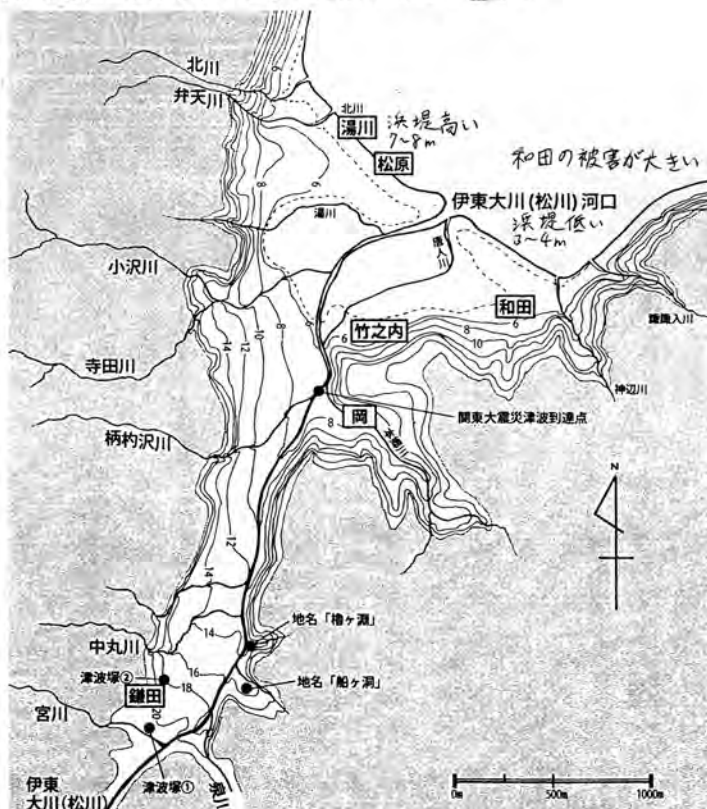


元禄津波犠牲者の供養塔

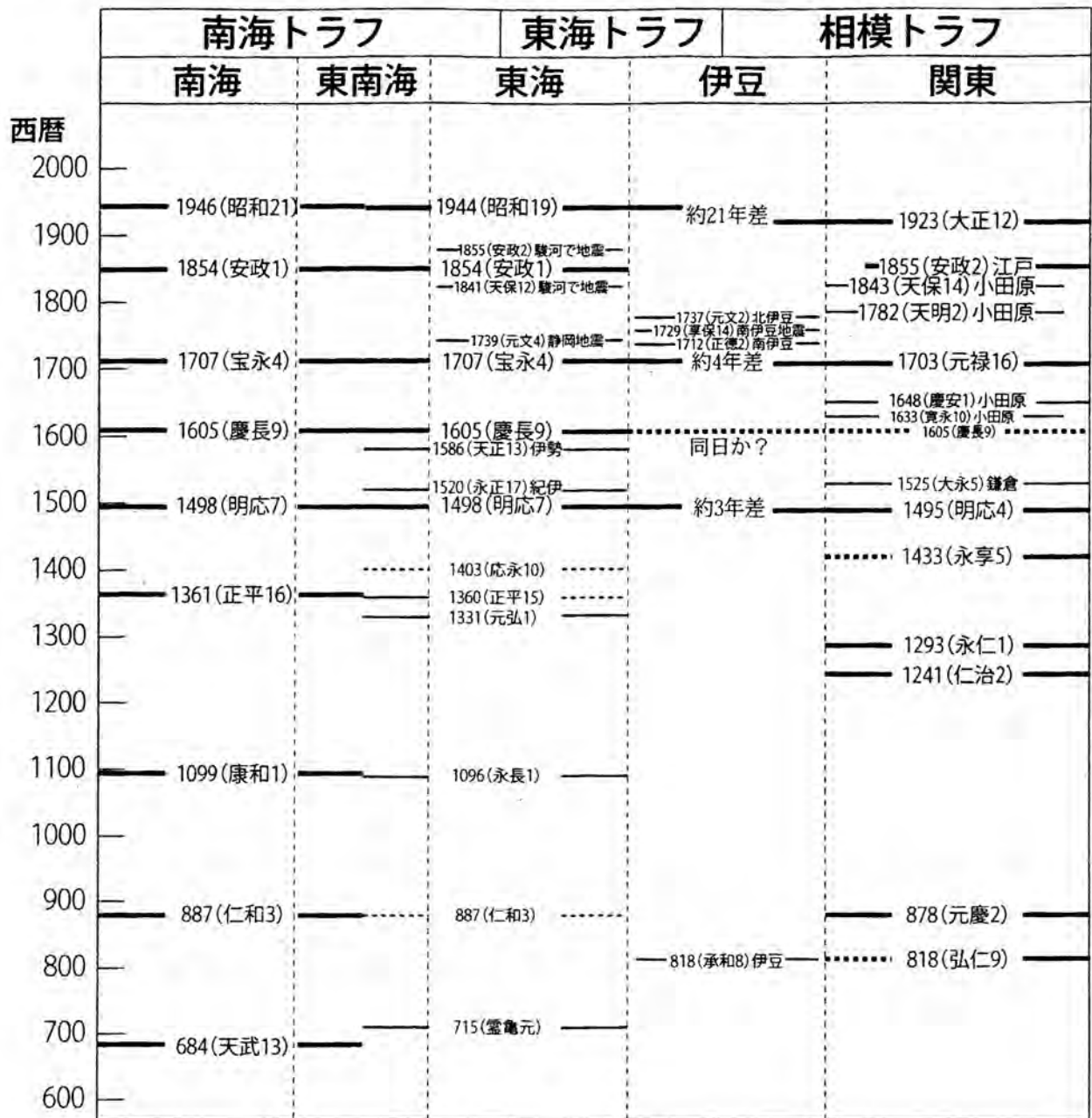
所在地	主字	銘文	年月日銘	犠牲者	h*w*d、形態備考
行運寺	南無妙法蓮華經 法界	津浪流死之諸聖靈第六十年忌/ 旭光山行運寺願主/題目講中現 住日全	宝曆十二壬午天 十 一月二十三日建立之	380余	1800*446*330(mm)、 総供養塔、石柱状 六十周忌
仏現寺	南無妙法蓮華經	下田氏新五郎誌之/地震津波當 処照光院於/小田原死去當村水 没之男/女百六十三人各靈菩提	元禄十六癸未十一月 廿三日	163人	1240*540*360(mm)、 自然碑
	妙法三界萬靈	地震津波/當所水難亡魂老少男 女老百三十余人	元禄十六癸未年十 一月廿二日夜丑時	130余	770*480*400(mm)、 自然碑
恵鏡院	有縁無縁萬靈供 養塔	地震並津波村中死人数二百餘た び人まで/施主當村若キ衆中	元禄十六癸未十一月 念二日夜	200人	910*480*350(mm)、 自然碑

松川流域の地形概念図と元禄津波到達点

●印が津波到達を示す塚・地名・伝承等の所在する場所



海溝型巨大地震の編年表



宇佐美地区の地形分類図

